

## 健康経営の具体的な成果

### 運動習慣者率

課題の内容	運動習慣者率は22.8%（2019年度）であり、全国平均である男性33.4%、女性25.1%（厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」）よりも低い状態でした。運動習慣者率を向上させることが課題です。
施策	歩数や睡眠スコア、消費カロリー等を計測できるウェアラブル端末を希望する全従業員に無償で貸与しています。また、ウェアラブル端末貸与者に対してウォーキングイベントを開催し、運動習慣の定着を促進しています。
得られた効果	ウォーキングイベント実施前後に行ったアンケート調査（2022年度）では、運動習慣が「ほとんどない」と答えた人の割合は37%から26%に減少しました。また、運動習慣者率は、23.4%（2020年度）、24.7%（2021年度）、25.1%（2022年度）と向上しました。

### 働き方改革

課題の内容	超過労働時間数※が70時間を超える従業員が年間200人超発生（2017年度以前）しており、生産性向上による長時間労働を是正することが課題です。
施策	働き方改革運動～スマートワーキングチャレンジ～を実施し、「マネジメント改革」「意識改革」「業務改革」「能力開発」の4つの分野に取り組んでいます。
得られた効果	2017年に施策を実施して以降、超過労働時間数70時間超の人数は206人（2017年度）から23人（2022年度）まで減少しました。その他にも、時間外労働時間数は13.8時間（2017年度）から4.2時間（2022年度）まで減少し、有給休暇取得率は45.4%（2017年度）から79.6%（2022年度）まで増加しました。

※超過労働時間数=1ヵ月の実労働時間数-（40×該当月の暦日数÷7）